

砺波市議会 6月定例会での市政一般質問

(注) 一般質問は9項目で、うち6項目を掲載。質問・答弁は全文ではなく、要旨のみ掲載しています。

●砺波市が誇る豊かな水資源の推進について

①暑さから命を守る対策の一環として、また、市民の健康を支えるインフラとして、「給水スポット」の設置について問う。

本市では、熱中症特別警戒アラート発表時、適切に涼しい環境を提供でき、飲料が購入できる公共施設や民間施設をクーリングシェルターに指定している。「給水スポット」は、マイボトル活用によるプラごみ削減といった環境面や、猛暑時に適切な水分補給を促すといった健康面においては、有用な手段の一つであると考えている。

一方で、整備方法にもよるが、吸水口への接触など、安全に使用いただくための衛生上の課題も懸念されるので、まずは、先進自治体の導入事例などの調査研究をしていきたい。

●日本のチューリップ球根産地の維持に向けた生産支援について

②若い世代の挑戦を力強く後押しするため、今後の具体的な取組みと未来への投資に対して問う。

本市では、現状の球根生産農家の減少に歯止めをかけるためにも、農業経営の第三者承継による技術指導や農機具、農地の継承なども視野に入れた支援策を検討するとともに、市外や県外からの参入に対しては、となみ暮らし応援プロジェクト（1073プロジェクト）との連携や、地域おこし協力隊の受入れなども検討したい。

まずは生産者へのアンケートの結果を踏まえ、事業承継を前向きに検討いただける生産者との調整を行いながら、首都圏等で開催される就農促進イベントなどにおいて、新規就農希望者へのチューリップ球根生産の紹介などにより、特に若い新規就農希望者を広く募集し、新たに両者のマッチングを図りたい。

●水道事業の経営健全化と有収率向上に向けた最新技術の活用について

①有収率低下の現状認識と令和8年度目標の達成に向けた進捗状況について問う。

令和5年度には、最新技術の人工衛星とAIを活用した漏水調査を行い、漏水の可能性のある個所を絞り込み、より効率的に修繕してきた。その結果、有収率は令和6年度には0.8パーセント改善され、81.8%となったが、令和7年度は2年かけて行っている調査・修繕の1年目であることや管路の老朽化が進んだことから、有収率は、0.5パーセント減の81.3パーセントとなった。

本年は、人工衛星とAIで絞り込んだ箇所を経過年

数や管種などでさらに絞り込み、漏水の発見率を高める調査を実施することに加え、計画的に老朽管路を更新することで、目標値である有収率89パーセントに近づくよう鋭意努めていきたい。

②予防保全となる漏水リスク予測技術を積極的に導入し、水道事業の強靱化と経営健全化について問う。

本市は、AIに学習させる過去の漏水箇所などの基礎情報の整理に時間や費用を要することから、現段階では、「事後保全」を優先せざるを得ないのが現状である。

このことから、現在の手法で確実な成果を積み上げ、水道事業の強靱化と経営健全化に努めるとともに、予防保全システムを既に導入している自治体の実績、効果、課題について、情報収集と導入にあたっての費用対効果などの検証を行っていきたい。

●不登校児童生徒の多様な学びと「居場所」の保障について

①「サポートルーム」を単なる自習室や別室登校の受け皿に留めず、環境や柔軟なカリキュラムの機能強化について問う。

「サポートルーム」は、個々の児童・生徒の心身の状態に応じた適切な対応を行うための「教育的・福祉的機能を持った重要な場所」として運営している。

また、カウンセリング指導員や心の教室相談員等を適宜配置していることに加え、学校ごとにソファや円形テーブルを配置するなど、児童・生徒が安心して利用できる環境を整えている。

今後は、児童・生徒が安心して学びに向かえる居場所としての環境整備に加え、現場の教職員と連携を図りながら、利用する児童・生徒の社会的な自立を目指し、支援を行っていきたい。

②「帯タイム」の具体的な取組状況と、今後どのような手法で客観的な検証・評価を進めていくかを問う。

「帯タイム」の取組状況は、タブレット端末を活用して漢字や算数の反復学習に取り組む学校、読書習慣の定着を図るための読書タイムとする学校のほか、学習内容を自ら選択する自己決定型の学習や、6限目と連続させて総合的な学習の時間を確保するなど、幅広い活用がなされている。

今後、年に2～3回実施している教育課程や教育活動についての児童、保護者及び教員を対象にしたアンケートにおいて成果と課題をとりまとめ、児童にとって「帯タイム」が更に有意義な時間となるよう努めていきたい。

後援会だより

第22号 R8.7.1

向井 みきお

誠実で常に感謝の気持ちを持って「となみ」のために尽くします



HP
URL: <https://www.mukai-mikio.jp/>



皆さまには、平素より温かいご支援とご指導を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

先日開催された「歴史ウォーク」ではガイドの大役を仰せつかり、油田地域の魅力を再発見する素晴らしい機会をいただきました。地域に残る歴史の足跡や、語り継がれてきた言い伝え、これら地域の文化を絶やすことなく未来へ継承していくことは、地域社会をつくる上で、極めて重要であると考えております。

これからも、歴史を重んじ、皆さまの声をカタチにしながら、誇れる故郷を次の世代へ引き継ぐべく邁進してまいります。今後とも、ご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

6/6 油田わくわく歴史ウォークの解説から

麦秋(ばくしゅう)という名前の由来

「麦秋」とは麦の収穫期である初夏のことで、砺波の美しい田園風景を象徴する名前。かつてこの地域では、お米だけでなく麦もたくさん作られていた歴史が、この名前に刻まれている。



長屋門

この門のくくり戸の右横の格子窓の中には、すぐ横に部屋があり、門番がいることでガードマンの役割を果たし、不審者の侵入を防ぐ「警備の拠点」としての機能を持っていた。

囲炉裏(いろり)

囲炉裏は単なる「火をたく場所」ではなく、一家の生活の中心として非常に多角的な役割を果たしていた。最も基本的な自在鉤(じざいかぎ)に鍋や釜をつるし、煮炊きを行っていた。灰の中に串を立てて、魚や餅を焼いたりもできた。電気のない時代だったので、囲炉裏は暖房と照明、夜の貴重な明かりになっていた。また、ただ暖をとるだけでなく、煙が天井の茅(かや)や木材をいぶすことで、虫を防ぎ、家を100年以上持たせる防腐剤の役割を果たしていた。



6/17 文教民生病院常任委員会

質 問	回 答
児童施設管理運営費について	令和7年度で機能廃止した夢の平児童遊園、及び安全面から撤去することになった中村児童遊園にかかる遊具の撤去費
砺波市国民健康保険税条例の一部改正について	・課税限度額の引き上げ（66万円→67万円） ・軽減判定における被保険者数に乘ずる金額、2割軽減で（56万円→57万円）、5割軽減で（30.5万円→31万円） ・こども・子育て支援納付金課税額の軽減等の新設に伴い、18歳までの被保険者の均等割額を全額軽減
児童福祉総務費について	物価高騰の影響を受ける子育て世代の経済的負担を軽減するため、未就学時のいる世帯を対象に「砺波市プレミアム付き商品券」13,000円分を配布。

皆さまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。

後援会事務所 ☎0763-23-5166 ✉muka185@amber.plala.or.jp

主な活動報告 (3/15～6/16)

3/15 石丸親寿会定期総会・市政報告会

石丸公民館

10:00～



①防災・減災②高齢者支援策
③となみ暮らし応援プロジェクト④剪定枝リサイクル大作戦⑤砺波市プレミアム付き商品券⑥城端線・氷見線再構築⑦チョイソコとなみ⑧中学校再編計画⑨新児童施設「こどもおーる」など情報共有・意見交換を行いました。

4/4 2026となみチューリップフェア 清掃ボランティア

チューリップ公園

7:00～



団体・企業・個人を含めて約600名余りの市民の皆さんが参加。今年75回目の開催であり、300品種350万本のチューリップが色鮮やかに咲き誇ります。

4/18 チューリップバルーン2026

中村グラウンド

6:30～



県内の熱気球愛好団体などでつくる実行委員会が企画。全国各地から、32基が空をカラフルに彩り、22日に開幕する「2026となみチューリップフェア」をPRしました。

4/20 令和8年度 青少年育成砺波市民会議総会

砺波市役所

18:30～



砺波市内22の会員団体と各地区公民館・関係団体の委員で構成。①令和7年度事業報告・収支決算報告②役員(案)③事業計画(案)・収支予算(案)を審議しました。

4/24・29 2026となみチューリップフェア 水車苑ボランティアガイド

砺波チューリップ公園



当公園のシンボルの一つである「五連水車」、砺波平野の歴史、散居村の暮らし、先人の知恵が詰まった水の文化を伝えました。

4/30 青少年育成事業 「子どものネット依存と対策」

庄西中学校

13:30～



富山大学 医師・医学博士山田 正明氏を招き、「子どものネット依存と対策」の内容で講演を伺いました。

5/20 自民党富山県連砺波ブロック 政務調査会長会議

砺波文化会館

10:00～



①地域医療を担う自治体病院の健全経営に必要な支援②地域農業の経営所得安定対策や水田活用の予算の確保・充実③交通危険箇所における交通安全施設整備を要望しました。

5/21 自由民主党油田支部定期総会・ 市政報告会

油田自治振興会館

18:30～



①全国散居村サミット②砺波市水害ハザードマップ③JAとなみ野本店移転④交差点の安全対策⑤防災対策など、市政報告会を実施しました。

5/23 JR油田駅クリーンアップ作戦

JR油田駅

8:00～



JROB会が実施する緑化活動に合わせて、城端線もりあげ隊や自治振興会の皆さん方とベコニアやインパチェンスなどの花壇の植え替えや清掃活動を実施しました。

5/23 令和8年度自由民主党砺波市連合支部 定期総会

となみ野農業協同組合農業機械センター 18:00～



事務局として、令和7年度事業報告・収支決算報告、収支予算(案)を議案提案。また、党勢拡大に向けたお願いや高市早苗富山後援会入会の案内をお知らせしました。

5/24 油田公民館青少年育成部会”散策会”

岐阜県高山市

7:30～



参加者約80名、岐阜県高山市へ、古い町並みで昭和のレトロを体感し、「光ミュージアム」で芸術と癒しの空間を堪能しました。

5/27・28 第18回2026年度 日本自治創造学会研究大会

明治大学(東京都千代田区)



人口減少下の新たな挑戦がテーマ①デジタル時代の地方自治②スマートシュリングの実践③新たな地域政策のつくり方④生成AIを活用した創生策を演題として、実践事例の紹介がありました。

6/6 わくわくあぶらでん歴史ウォーク

多世代交流施設”麦秋苑” 9:00～



住民を対象に27名が参加。三郎丸蒸留所やJR油田駅、麦秋苑、平和の碑を巡り、地元の魅力を再発見。豪農・桜井家の旧屋敷を活用した「麦秋苑」のガイドを務めました。

6/7 宮丸地域環境保全会春の植栽活動

宮丸ふれあい会館

8:00～



マリーゴールド・ニチニチソウ・トレニアなど、宮丸用水路の側に植えました。8月～9月頃まで楽しめます。

6/12 となみ夜高まつり

旧立山酒造2F(特別観覧席) 20:00～



豊年満作・五穀豊穡を祈って行われる「となみ夜高まつり」。初日の「行燈コンクール」では、各町が丹精込めて作り上げた行燈の美しさを競いました。

6/16 6月砺波市議会定例会一般質問

砺波市議場

10:00～



①砺波市が誇る豊かな水資源の推進②日本一のチューリップ球根産地の維持に向けた生産支援③水道事業の経営健全化と有収率向上に向けた最新技術の活用④不登校児童生徒の多様な学びと「居場所」の保障について一般質問しました。